

このたびは、バックオーライ C - 0 6 B をお買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用になる前に、本書を必ずお読みいただき、正しくご使用ください。お読みになった後も、
本書は必要になった時、すぐに利用できるように大切に保管してください。

本製品を譲渡される場合や別のお車に取り付け直す場合も、本書を必ず製品に付帯させ、
お使いになる方がいつでも見られるようにしてください。

1. 安全上の注意事項

記号と意味は次のようになっております。

	警告 取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定されることを意味します。また、法律に違反することを意味します。
	注意 取り扱いを誤った場合、傷害を負う危険が想定されることを意味します。また、製品を損傷、故障させる恐れがあることを意味します。

ここでは、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

	警告 バックオーライ C - 0 6 B は、運転の補助装置として後方障害物の存在をブザーと LED インジケータで知らせるもので、運転者の注意義務を軽減するものではありません。バック時は後方、周囲の安全を十分確認してください。また、本製品を使用中に発生した事故に対し、本製品の動作の有無にかかわらず当社では一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
--	---

	注意 本製品は自動車用の後方障害物感知・警報装置です。違う目的で使用すると取り付けられた機器の故障やセンサーの誤動作の原因となります。本製品は 1 2 V 車専用です。2 4 V 車にはお取り付けできません。また、2 4 V / 1 2 V 変換器 (DC - DC 変換器) を使用して取り付けしないでください。誤動作の原因となります。本製品を 1 台の車に、2 セット以上取り付けしないでください。誤動作します。また、純正のバックセンサー、他社のバックセンサーと併用しないでください。誤動作の原因となります。電磁式バックホーンやネオン管などの発信機内蔵品を取り付けた車に本製品を取り付けしないでください。誤動作の原因となります。センサーを車の前側 (フロント) に取り付けしないでください。エンジンノイズにより誤動作の原因となります。本製品をリアエンジン車 ミッドシップエンジン車 に取り付けしないでください。エンジンノイズにより誤動作の原因となります。 リアエンジン車 … エンジンを車の後部に搭載した車 ミッドシップエンジン車 … エンジンを車の中央部 (運転席後方) に搭載した車 検電ランプ、テスターなどで配線先を確認する場合は、バッテリーケーブルのマイナス端子を外してから作業をしてください。ケーブルを外さないで作業すると、配線がショートして火災・故障の原因となります。本製品の配線接続時は、付属のエレクトロタップのフタを確実にロックしてください。エレクトロタップの金属部が車体の金属部に接触すると、ショートして火災・故障の原因となります。センサーコードの切断や延長は行わないでください。誤動作の原因となります。製品を分解、塗装、改造しないでください。また、製品を落としたり、ぶついたり、強い衝撃を与えないでください。破損、故障の原因となります。本製品のコントロールユニット、LED インジケータは防水仕様ではありません。必ず、水のかからない場所に設置してください。故障の原因となります。トラック等、コントロールユニットを車室内、トランク内に設置できない車にはお取り付けできません。本製品の感知・警報距離は、センサーと障害物の距離です。取り付け後、必ず感知・警報範囲を確認してから使用してください。なお、感知・警報範囲の確認は、車を動かして行わないでください。思わぬ事故につながる原因となります。確認するときは車のエンジンを止め、障害物を車に近づけて確かめてください。本製品の感知・警報範囲や動作の確認を長時間行うとバッテリーの消耗が激しくなります。ご注意ください。
--	--

4. 仕様

商品の仕様及び外観は、予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

主な仕様

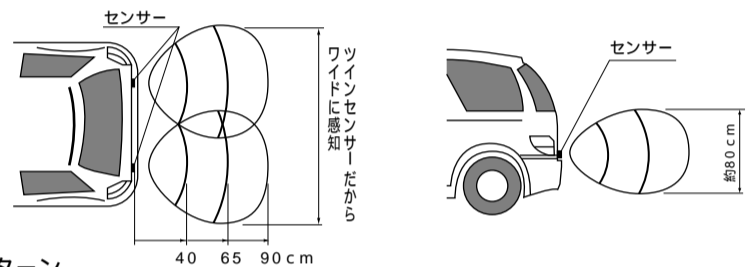
定格電圧	DC 1 2 V 自動車用
消費電流	待機時 2 0 mA 以下
	警報時 (LED & ブザー作動時) 6 0 mA 以下
使用電圧範囲	DC 9 V ~ DC 1 6 V
使用温度範囲	- 2 0 ~ 7 0 (ただし、センサー部の氷結なきこと。)
保存温度範囲	- 3 0 ~ 8 0

各部寸法

コントロールユニット	外形寸法: W5 8 x D7 7 x H2 4 mm
センサー	外形寸法: W3 5 x D2 6 x H1 4 mm コード長: 約 2 m
LED インジケータ	外形寸法: W2 4 x D2 5 x H1 7 mm コード長: 約 3 m
電源・LED 接続ハーネス	電源コード長: 約 1 m

センサーの感知範囲 (イメージ図)

センサーの感知範囲は障害物の形や大きさによって変わります。

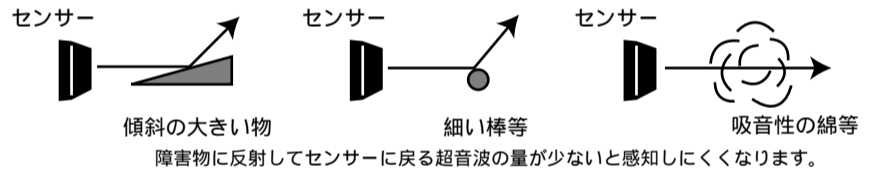


警報パターン

センサーと障害物との距離	LED インジケータ & ブザーの警報パターン
9 0 cm ~ 6 5 cm	長い間隔の点滅 & 断続音
6 5 cm ~ 4 0 cm	短い間隔の点滅 & 断続音
4 0 cm ~ 0 cm	連続点灯 & 連続音

左右のセンサーの感知距離に差がある場合、より近い方を優先して警報します。

感知しにくい物 (イメージ図)



オプション (別売) について

- 追加 LED インジケータ (C-07C)
追加 LED インジケータ (C-07C) を追加することにより、2 つのセンサーにそれぞれ連動し、どちらのセンサーが障害物を感知しているかがわかる【左右独立警報】にすることができます。LED インジケータ (C-07C) は、本製品に付属されている LED インジケータと同一部品です。ブザーは感知距離の近い方を優先して警報します。
- 追加 ブザー (C-08B) / コード長: 約 3 m
本製品のコントロールユニットの設置環境により、標準の警報ブザー音が聞き取りにくい場合に追加接続してご使用ください。警報音源を任意の位置に設置することが可能となります。上記の追加 LED インジケータ (C-07C) との併用はできません。ご注意ください。

2. 使用上の注意事項

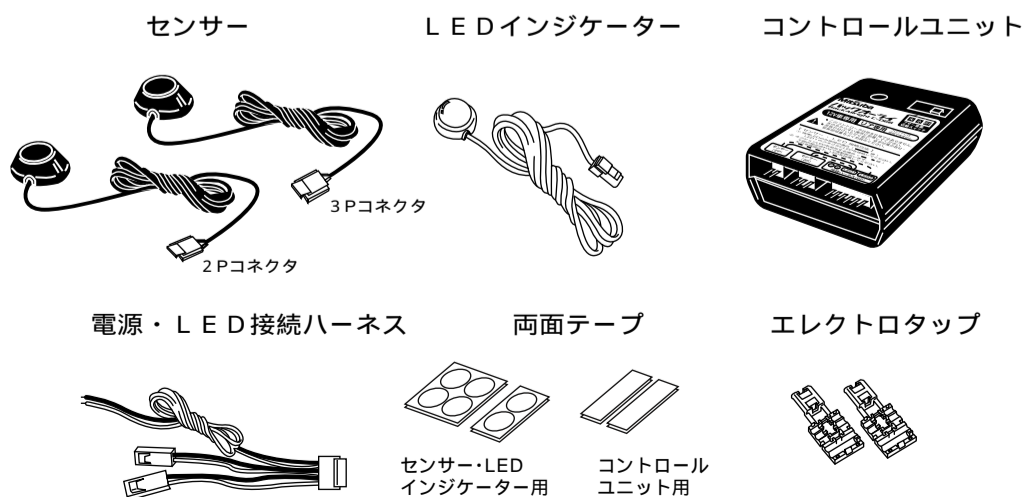
次のような状態で使用すると誤動作する場合があります。

- AT 車でシフトの R レンジへの切り替えをすばやく繰り返した場合、ゆっくりと切り替えしなおすと正常に戻ります。
- センサーに泥、雪などの異物が付着したり、凍結した場合。
- 砂利道、凸凹道、坂道、草むらなどで使用した場合。
- 高温 (+ 7 0 以上) や低温 (- 2 0 以下) の環境で使用した場合。
- ホコリのひどい風が吹いている場合。
- 超音波、無線機の電波、電磁ノイズなどの外来ノイズを受けた場合。
(外来ノイズは、バイク、無線機、発電機などの簡易エンジンや電動モータから発生します。)

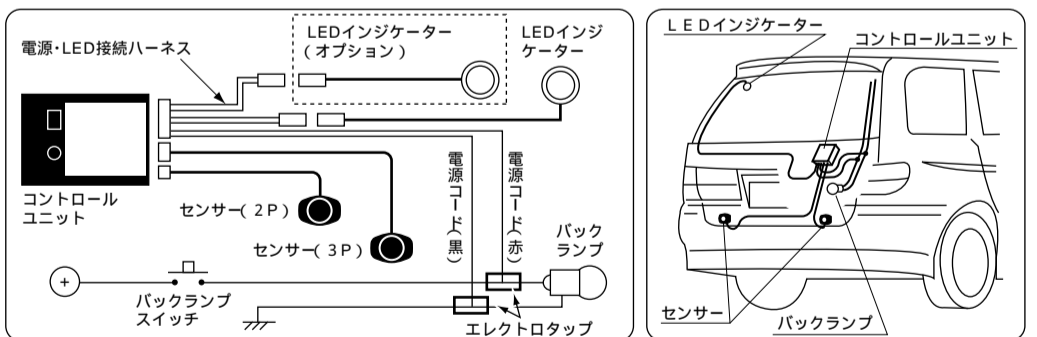
センサーに強い衝撃を与えないでください。破損、故障の原因となります。また、自動洗車機やウォーターガンによる洗車のあとは、センサーの破損、剥がれがないか確認し、正常に動作することを確認してから使用してください。

3. パッケージ内容

お取り付けいただく前に、内容をお確かめください。



5. 配線図 (取り付けレイアウト)



6. 取り付け方法

準備 お取り付け作業を開始する前に下記の工具を用意してください。

プラスドライバー スパナ プライヤー テスター、または検電ランプ(12V用)

注意 お取り付けいただく車種によっては上記以外の工具が必要となる場合があります。別途ご注意ください。

注意 取り付けに際し、車体の内張りやカバーを外す場合には、部品を紛失・破損しないように慎重に作業してください。内張りやカバーが元に戻らなくなる恐れがあります。

ステップ1 センサーの取り付け

注意 センサーを固定する際は、付属の両面テープを2枚重ねて貼り付けてください。1枚で固定すると、センサーと車体取付部が共振し、障害物がなくても警報する恐れがあります。センサーコードの切断や延長は行わないでください。誤動作の原因となります。センサーコードの配線時、コードとコネクタの接続部を引っばらないように注意してください。断線の原因となります。

(1) センサーの取付位置を決めてください。

センサーの取付位置を右図の取付範囲・方向を参考に決定してください。

注意 地面、背面スペアタイヤ、バンパー等を感知してしまわぬようご注意ください。

(2) センサーを固定してください。

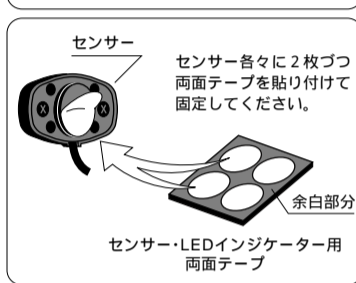
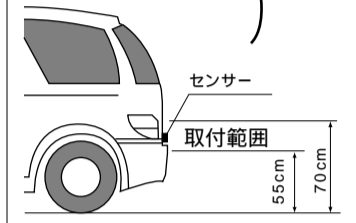
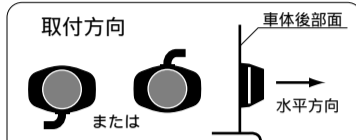
まず、センサー・LEDインジケータ用両面テープの余白部分を利用して、センサーを仮固定することをおすすめします。ステップ6の動作確認で正常に動作することを確認してから付属の両面テープを2枚重ねて貼り付け、しっかりと固定してください。

注意 貼り付ける部分のゴミ、油分、水分を中性洗剤やきれいな乾いた布で取り除いてください。

(3) センサーコードを配線してください。

センサーコードをトランクルームや車室内に確実に引き込みます。車体の隙間などを利用してコードが垂れ下がらないように配線してください。

注意 コード引き込み部から車室内に浸水しないよう注意してください。またコードが直接金属に触れる箇所はコードの被覆が傷付かないように、テープなどを巻いて十分保護してください。



ステップ2 LEDインジケータの取り付け

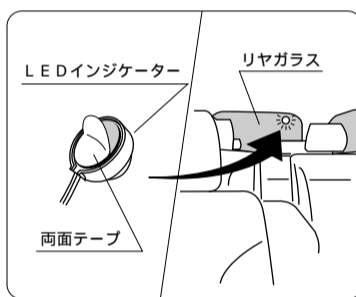
注意 LEDインジケータは防水仕様ではありません。必ず水のかからない車室内に設置してください。水がかかると故障の原因となります。LEDインジケータコードの配線時、コードとコネクタの接続部を引っばらないように注意してください。断線の原因となります。

(1) LEDインジケータを固定してください。

注意 LEDインジケータは、運転席周辺には設置できません。

センサー・LEDインジケータ用両面テープを使用して、リアガラス周辺の、運転席から見やすい車室内に貼り付けてください。貼り付ける場所が湾曲していて貼り付けにくい場合は、両面テープを2枚重ねて貼り付けてください。

注意 貼り付ける部分のゴミ、油分、水分を中性洗剤やきれいな乾いた布で取り除いてください。



(2) LEDインジケータコードを配線してください。

LEDインジケータコードを窓枠の隙間などを利用して、運転の支障にならないように配線してください。

ステップ3 各コードの接続

注意 電源・LED接続ハーネスの接続時、コードとコネクタの接続部を引っばらないように注意してください。断線の原因となります。各コネクタの抜き差しは、必ずコネクタを持って行ってください。コードを引っばると断線の原因となります。

(1) 電源・LED接続ハーネスを接続してください。

電源・LED接続ハーネスの6Pコネクタをコントロールユニットの6Pコネクタへ接続してください。

(2) センサーコードを接続してください。

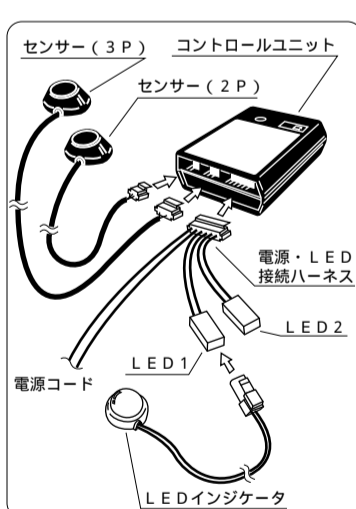
センサーコードの2Pコネクタ、3Pコネクタをコントロールユニットの2P、3Pのコネクタへそれぞれ接続してください。

(3) LEDインジケータコードを接続してください。

LEDインジケータの2Pコネクタを電源・LED接続ハーネスの2Pコネクタ(LED1)に接続してください。(LED2のコネクタに接続しても作動します。)

オプション(別売)のLEDインジケータ(C-07C)をご使用の場合は、下記の組み合わせで連動表示します。センサー取り付けの左右、LEDインジケータ取り付けの左右を確認して接続してください。

センサー(3P)	LED1
センサー(2P)	LED2



ステップ4 電源コードの接続

注意

検電ランプ、テスターなどで配線先を確認する場合を除き、バッテリーケーブルのマイナス端子を外してから作業を行ってください。外さないで作業すると、配線がショートして火災、故障の原因となります。電源線接続時は、エレクトロタップのフタを確実にロックしてください。エレクトロタップの金属部が車体の金属部などに接触すると、ショートして火災、故障の原因となります。

(1) バックランプのソケットを探してください。

通常、バックランプの内側位置にあるカバー、内張り等を外すとバックランプのソケットが見られるようになります。

(2) 電源コード(赤)の接続先を探してください。

バックランプに接続されているコードで、シフトレバーをバック(R)の位置にすると電圧(約12V)が出るコードをテスターまたは検電ランプで探してください。

(3) 電源コード(黒)の接続先を探してください。

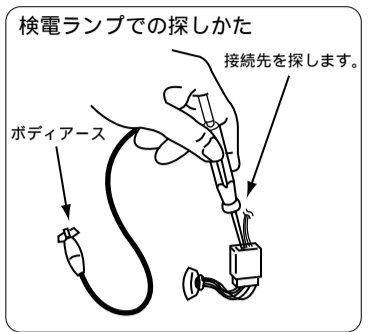
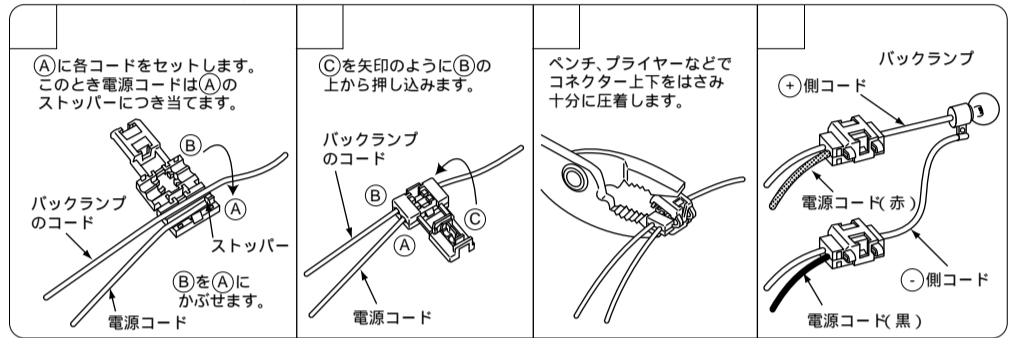
バックランプに接続されているコードで、シフトレバーをバック(R)の位置にしても電圧が出ない(0V)コードを探してください。

注意 電源コード(黒)はボディアースしても構いません。ただし、塗装されている金属部分への接続や、不確実な接続は動作不良の原因となります。ご注意ください。

(4) 電源コード(赤・黒)をそれぞれエレクトロタップで接続してください。

上記(2)で探したコードに電源コード(赤)を、(3)で探したコードに電源コード(黒)を付属のエレクトロタップで確実に接続してください。

エレクトロタップの接続方法



ステップ5 コントロールユニットの取り付け

注意

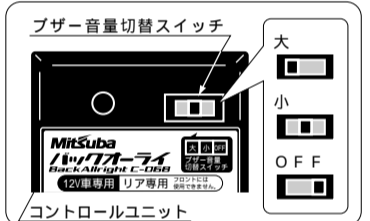
コントロールユニットは防水仕様ではありません。必ず水のかからない場所に設置してください。水がかかると故障の原因となります。

(1) コントロールユニットの取付位置を決めてください。

注意 高温、多湿にならない場所や、荷物などの積み下ろし時に邪魔にならない場所を選んでください。

(2) ブザー音量を設定してください。

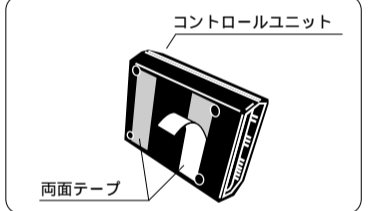
コントロールユニットのブザー音量切替スイッチでブザーの音量を大・小・OFFの3段階で切り替え可能です。お好みの音量に設定してください。



(3) コントロールユニットを固定してください。

コントロールユニットの裏側に付属の両面テープを貼り付け、しっかりと固定してください。

注意 貼り付ける部分のゴミ、油分、水分を中性洗剤やきれいな乾いた布で取り除いてください。



ステップ6 動作確認

注意

本製品の感知・警報距離は、センサーと障害物の距離です。取り付け後、必ず感知・警報範囲を確認してから使用してください。なお、感知・警報範囲の確認は、車を動かして行わないでください。思わぬ事故につながる原因となります。確認するときは必ず車のエンジンを止め、障害物を車に近づけてください。本製品の感知・警報範囲や動作の確認を長時間行うとバッテリーの消耗が激しくなります。ご注意ください。

(1) お車のキースイッチをONにして、シフトレバーをバック(R)の位置にしてください。

(2) 約1秒後にブザーとLEDインジケータが1回作動して、感知開始をお知らせします。

(3) 障害物を車体に近づけ、センサーの感知・警報範囲を確認してください。

7. 故障かな?と思ったら

このような時	チェックしてください	処置
シフトレバーをバックにしても作動しない。	電源コードがはずれていませんか?	確実に接続してください。
障害物がないのに警報する。	センサーに泥、雪などが付着していませんか?	センサーの泥、雪などを取り除いてください。
	地面、背面スペアタイヤなどを感知していませんか? センサーを両面テープ1枚で固定していませんか?	センサーの取り付け位置を変更してください。改善しない場合は、センサーの取り付け位置を変更してください。
LEDインジケータが作動しない。	コネクタがはずれていませんか?	確実に接続してください。
ブザーが鳴らない。	ブザー音量切替スイッチがOFFになっていませんか?	ブザー音量切替スイッチで大または小に設定してください。

8. アフターサービスについて

使用中に正常に動作しなくなった時は、まず、本書の『故障かな?と思ったら』を参考に確認してください。『処置』を行っても改善が見られない時は、お買い上げ店、または当社技術サービスにお問い合わせください。保証をお受けになる場合、お買い上げ店に不具合内容を具体的に提示の上、センサー、LEDインジケータ、コントロールユニットをセットにして、保証書と共に依頼ください。なお、保証範囲につきましては、保証書裏面に記載の保証規定によります。保証対象外の修理について、保証期間を過ぎた場合や使用上の不注意による事故等、保証の対象にならない場合の修理については、有償となります。保証書裏面に記載の保証規定をご覧ください。